

## 特に御議論をいただきたい項目について

### 1 二次医療圏の見直しについて

#### (1) 素案該当箇所

第3編第1節 医療圏の設定 P38～

#### (2) 国の見直し検討基準に該当する医療圏

仙南医療圏

#### (3) 今回の主な分析項目

面積、急性期機能及び救急搬送の地域完結率、地域医療支援病院までのアクセス時間、関連計画等における圏域の設定状況

#### (4) 宮城県地域医療構想調整会議での協議

協議日時等：令和5年7月21日（書面による意見照会）

#### (5) 見直しの方向性（事務局案）

分析結果を総合的に勘案すると、現時点では、現行の区域が妥当と考えられる。このことについて、上記会議により意見照会をしたところ、否定的な意見はなかったことから、見直しはしないこととしたい。

### 2 各圏域の現状・課題について

#### (1) 素案該当箇所

第6編 二次医療圏・構想区域ごとの課題と取組の方向性 P91～

#### (2) 取りまとめの方向性

- 素案では、外部環境の分析など内容が限定的になっている。
- 平行して各疾病・事業に係る作業部会を順次、開催中であり、この協議内容を踏まえて、今後、「機能分担及び連携状況」「課題と取組の方向性」をまとめていく。

#### (3) 宮城県地域医療構想調整会議での協議

- 協議日時等：令和5年7月21日（書面による意見照会）
- 御意見を踏まえた論点

- 高齢の救急搬送患者の増加に対応した連携体制が必要  
（入口の課題）
  - ・ 1次救急受入施設（夜間急患センター）と2-3次救急医療機関との連携強化
  - ・ 2-3次救急医療機能の一層の充実
  - ・ 在宅医療との連携強化と役割分担（高齢者の看取り、夜間急変時の対応等）
- （出口の課題）
  - ・ 救急搬送受入病院で治療を終えた高齢・中等症患者の受入れ先（回復期病床、後方支援病院）、さらにその先の療養病床、在宅医療、介護・福祉施設等との連携が未整備
- 病床機能の分化・連携の促進
  - ・ 過剰な急性期・慢性期病床と、不足する高度急性期・回復期病床の再編について政策的な取組が必要
- 生産年齢人口の減少と医師の働き方改革により、特に看護師、技師などコメディカル不足が深刻化

【参考：第8次宮城県地域医療計画策定スケジュール】

時期		宮城県医療審議会 医療計画部会	地域医療構想 調整会議	地域医療・ 介護調整会議	特記事項
令和5年	4月		○第1回【4/26・5/9・ 5/15・5/17】 検討体制・検討 項目等の協議		
	5月	○第1回【5/30】 構成案等の提示	↓		○医療審議会へ 諮問【5/18】
	6月				
	7月		○第2回【7/21】 (書面) 素案の協議		
	8月			○第1回【8/29】 医療・介護の連携 説明(全圏域)	
	9月	○第2回【9/4】 素案の提示			
	10月		○第3回 ↓ 中間案の協議		
	11月	○第3回【中旬】 中間案の提示	↓	○第2回 医療と介護の需要 説明(医療圏別)	
	12月				○パブリックコメント・ 意見聴取【12月下旬～1月中旬】
令和6年	1月		○第4回 ↓ 最終案の共有		↓
	2月	○第4回【上旬】 最終案の提示	↓		○医療審議会から 答申
	3月				
	4月				○施行【4/1】 ○公示【上旬】